

各種コーティング液、懸濁液、高粘度流体のろ過

厚みのあるメディアによるウルチプリーツ構造 デプスとプリーツ両方の利点を併せ持つ 画期的フィルター

“プロファイルUP”は、全く新しい発想で開発されたプリーツ構造により、高流量化を実現したオールポリプロピレン製フィルターカートリッジです。厚みのあるメディアとウルチプリーツ構造が、デプスとプリーツ両タイプの利点を併せ持つ画期的なフィルターを誕生させました。

従来、高粘度流体のろ過は難しく、プリーツフィルターではプリーツがつぶれてろ過寿命が短くなり、デプスフィルターでは差圧が高いために設備が大きくなる、という問題がありました。

“プロファイルUP”は、これらの問題を同時に解決した、各種コーティング液、懸濁液、高粘度流体のろ過に最適なフィルターです。差圧は最大でデプスフィルターの1/15、プリーツフィルターの1/2まで小さくなるため、設備を小型化し、ろ過時間を大幅に短縮します。さらに、その厚みのあるメディアにより、効果的なゲルろ過を行います。

独創的なフィルターメディア構造とろ過のメカニズム

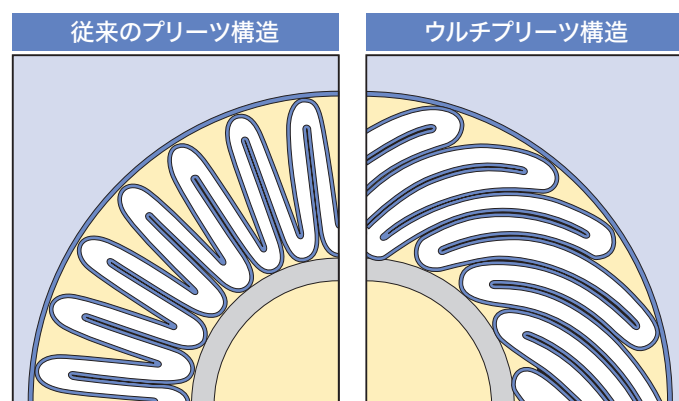
フィルターメディアの外側部分は、内側に行くにつれて連続的に小さい孔径になっているため、効果的な前ろ過を行い、ろ過寿命を長くします。また、カートリッジの内側部分は、変化のない均一な孔径を持ち、確実なろ過を行います。さらに外側から内側に向かって、孔径の変化に合わせて直径が連続的に小さくなるファイバーで構成されたメディアは、どの部分でも同じ空隙率を持っているため、滞留のないスムーズなろ過を行います。

特長と利点

- 絶対ろ過精度
- 厚みのあるメディア
- ウルチプリーツ構造
- 安定した流体清浄度による製品歩留まりの向上
- 効果的なゲルろ過による製品歩留まりの向上
- 低い圧力損失による設備の小型化とろ過時間の短縮

材質

構成部品	材 質
フィルターメディア	ポリプロピレン
メディアサポート	ポリプロピレン
サポートコア	ポリプロピレン
スパイラルラップ	ポリプロピレン
エンドキャップ	ポリプロピレン
エンドシール・サイドシール	熱溶着



仕様

耐差圧	0.41 MPa (～ 30 °C)
	0.34 MPa (～ 50 °C)
	0.21 MPa (～ 70 °C)
	0.10 MPa (～ 80 °C)
最高使用温度	80 °C

製品型式

ガスケットタイプ

PUY ① UY ② ③

O-リングタイプ

AB ① UY ② ④ ⑤

①		③		④		⑤	
コード	カートリッジ長さ	コード	ガスケット材質	コード	O-リング規格	コード	O-リング規格
1	10"	J	EPDM (標準)	3	AS568A-222	H4	シリコン
2	20"	H	フッ素ゴム	7	AS568A-226	H	フッ素ゴム
3	30"	H4	シリコン	8	AS568A-222	J	EPDM (標準)
		H13	NBR				

②

カートリッジ グレード	ろ過精度 ¹		20℃の水を 10 L / minで流した時の 初期圧力損失 (kPa)	一般的なる過流量 (L / min / 10" カートリッジ)
	液体における 下記ろ過効率でのμm値			
	90 %	99.98 %		
020	<1.0	2.0 ³	2.4	3～5
045	1.2	4.5	1.55	8～10
060	2.5	6.0	0.63	10～20
100	4.3	10	0.55	10～20
200	11	20	0.45	20～30
300	15	30	0.36	20～30
400	18	40	0.27	30～40
500	20	50	< 0.18	40
700	26	70 ²	< 0.18	40
1000	33	100	< 0.18	40

¹ ANSI B93, 31-1973に基づいたシングルパスF-2試験法によるデータです

² ろ過効率99.9 %での値

³ ろ過効率99 %での値

流体適合性

流体適合性は、使用条件（温度、濃度、使用期間など）により異なりますので、使用前に適合性を確認することをお奨めします。詳しくは、当社各営業所にお問い合わせください。



〒163-1325 東京都新宿区西新宿 6-5-1

マイクロエレクトロニクス事業部 TEL.03(6901)5700

本カタログに記載されているデータは特定条件下で得られた代表値です。本カタログに記載された情報により得られる結果並びに本製品の安全性に付いては保証するものではありません。本製品をご使用になる前に、本製品が使用目的に対して適正かつ安全であることをご確認ください。なお、本カタログに記載されている内容は予告無しに変更される場合がございます。

09/2025

